

関東甲信越英語教育学会 令和5年度 春季研修会

1. テーマ 「児童・生徒のやる気を高め、自信を持たせる授業と評価」
2. 日時 2024年3月23日(土)
3. 会場 オンライン実施 (Zoom を利用)
4. 参加費 無料 (会員・非会員問わず)
5. スケジュール

9:50~10:00 開会式

10:00~11:00 1. 実践報告 (小学校) (60分)

発表者：瀧沢 広人 先生 (岐阜大学)

タイトル：様々な児童に対応した小学校英語の授業づくり

概要：小学校英語が教科になり、4年が過ぎようとしています。その間、学習指導要領の理念に基づき、言語活動を通しての英語指導や、目的や場面、状況の設定、読み書き指導、パフォーマンス評価等の工夫改善が行われてきました。小学校に英語教育が入ったことで、中学校の英語指導が大きくやり易くなったことと思います。しかしながら今後の課題として、更なる読み書き指導の工夫や、英語を苦手と感じる児童への指導方策を考える時期に来ているのではないかと考えます。児童はどういう場面や状況で英語を苦手を感じるのか、学習意欲減退要因について私自身、研究を深めたいと思っています。本発表では、大学生の授業感想から見えてくる小学校英語の授業づくり観について、再度、皆さんで考えていきたいと思っています。

11:10~12:10 2. 実践報告 (中学校) (60分)

発表者：西村 秀之 先生 (玉川大学)

タイトル：生徒自らが使う英語の授業づくり

概要：生徒の話す力、書く力を高めるため日々授業改善を考えていらっしゃる先生は多くいらっしゃると思います。生徒の発信力を育むには、授業において生徒が実際に英語を活用することが大切だと考えます。では実際にどのように授業づくりを考えていくのか、授業で大切にしていくことは何か、など「ラウンドシステム」の授業実践を基にしながら、先生方と生徒が自ら使う授業づくりとは、について考えていきます。

12:10~13:00 昼食休憩

13:00～14:00 3. 実践報告（高等学校）（60分）

発表者：片居木 純太 先生（栄光学園中学高等学校）

タイトル：生徒が安心して「ちょっと」挑戦してみたくなる授業環境作りー語彙指導からディベート、自由英作文の評価までー

概要：生徒が意欲的に授業に取り組むには、授業中の成功体験と、生徒による学習目標の設定が大切だと考えます。そのために教師は、一人ひとり異なる生徒の学力や学習意欲を踏まえた授業設計と、学習成果の可視化が必要です。本講演では、「学び」が起こりやすい学習環境についてお話しし、そのような学習環境の整え方と、生徒たちが安心して「ちょっと」挑戦してみたくなる活動の実践例（語彙指導から四技能活動まで）をご紹介します。多様な指導環境でご指導なされている先生方に少しでも役に立てるような内容をご用意いたします。

14:10～15:40 4. 講演（90分）

講師：泉 恵美子 先生（関西学院大学）

タイトル：児童・生徒のやる気と自己効力感を高め、自律的な態度を育む指導と評価

概要：児童・生徒のやる気を高め、自信や自己効力感を持たせるためにはどのような授業、指導や評価が求められるのかを、学習指導要領で求められている三つの資質・能力の一つである「学びに向かう力（主体的に学習に取り組む態度）」と、「主体的・対話的で深い学び」から整理します。また、これまで取り組んできた Can-Do 評価やパフォーマンス評価、ストラテジー指導などにも触れながら、児童・生徒が主体となる、自律した学習者を育む外国語の指導と評価のあり方について考えます。

15:40～15:50 閉会式

6. 参加申込

右のQRコード、または学会HPより、必要事項をご入力の上お申し込みください。

学会ホームページ <https://kate-jp.sakura.ne.jp>

（申込〆切 2024年3月20日（水）17時まで）

7. お問い合わせ 以下のメールアドレスへお願いいたします。

kate.kenshukikaku@gmail.com 研修企画委員

